

建設業からの農業参入 (野上農園株式会社)

＜法人の概要＞

所在地：香川県高松市

設 立：平成 23 年 6 月

資本金：500 万円 売上高：— 万円

構成員（議決権）：農業従事者 1 名（100%）

役 員：1 名（うち農作業従事 1 名）

従業員数：常時雇用者 2 名、臨時雇用者 0 名

経営面積：2.0 ha（うち所有 0ha、借入 2.0ha） 基幹農作業受託面積：0ha

作付作物：キウイフルーツ 2.0ha



「かがわアグリ塾」の受講



再生・施設整備後の園地

＜営農を開始するまでの状況＞

土木建設業を営む野上氏（野上建設(株) 常務）は、経営の安定化に向けた新規事業として農業の取組みを検討していた。

かねてから、建設業界で親交のあった中野建設興業の中野氏とともに、県主催の新規就農希望者を対象にした「かがわアグリ塾」を受講し、農業の知識や技術を学びながら農業参入の具体策を検討した。

参入においては、企業の事業経営として農業を捉え、品種や品質など他と差別化が図れる農作物を作りたいとの信念から果樹を選定し、その中でも県育成の優良品種が創出されているキウイフルーツを選定した。取組方向としては、付加価値の高いキウイフルーツの生産販売を実践している県下の専作法人と販売委託の契約を結ぶとともに、法人が有する先進的な技術を研修により習得できることになった。

農地は、高松市農業委員会と打合せを行い斡旋を依頼するとともに、関係機関と栽培に適した農地の選定に向け現地調査を行った。

選定した農地の貸借手続きを機に農業生産法人を設立したが、農地が耕作放棄地であったため耕作放棄地再生利用の国補事業や施設整備の県単事業を活用し、キウイフルーツの栽培に必要な園地、施設の整備、苗の植栽等生産基盤の整備を行った。

<特徴的な取組>

香川県で育成されたキウイフルーツのオリジナル品種を複数種植栽し、アイテムを増やすことにより有利販売に結びつけることとしている（今後の規模拡大における植栽計画を踏まえ、各品種の生育特性の把握と管理技術の研究も実施）。

また、県の農業革新支援グループ専門指導員、農業試験場、普及センターの関係担当の支援・協力が得られ、当法人を含む新規のキウイフルーツ栽培者を対象に、管理技術や経営能力の向上に向けた指導・研修が行われており、各種管理作業の講義や実習、また先進地視察などを行っている。

<今後の農業経営の展開方向>

高品質なキウイフルーツの安定生産が可能となるよう、さらに管理技術の習得を行う。

また、農地中間管理機構の農地借受希望者の公募に応募しており、更なる経営規模拡大を図る。

<今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス>

法人化し農業に参入するにあたり、

- ・地域と共存する責任と覚悟を持ちながら、事業として成り立つ農業を行うことが肝心（10年後の経営計画が立てられるのが参入の最低条件）
- ・経営計画は、販売先・顧客（もしくはターゲット層）を定めることと販売ルート
の確保が要となる
- ・相談、協力が得られる地域の方々や行政の担当を増やすとともに、良い人間関係を築くことが大事である。



栽培管理技術研修（先進地）